

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 総務課, 所属班, 地域安全班, 電話番号, 62-5311, 内線, 262, 予算科目, 会計, 科目, 一般会計, 款, 項, 目, 02, 01, 11, 根拠法令, 旭市安全で安心なまちづくり条例, 旭市防犯指導員設置規則

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳(25年度の実績) 単位:千円, ② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績) 単位:時間

Table with 5 columns: 事業費, 費目内訳, 23年度(決算), 24年度(決算), 25年度(決算), 26年度(計画)

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 4 main sections: ① 主な活動, ② 対象(誰、何を対象にしているのか), ③ 意図(対象がどのような状態になるのか), ④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?, ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?, ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	防犯対策事務費 防犯パトロール	課名	総務課	班名	地域安全班
-------	--------------------	----	-----	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつきか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒[理由]↘ シルバー人材センターへの業務委託及び防犯指導員による防犯パトロール活動は、一年を通じて実施しており、防犯体制の充実につながっている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒[理由]↘ 地域ぐるみでの連携した防犯活動を実施することなどによって、市民一人ひとりの防犯に対する意識を高める事業であり、対象・意図ともに適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由]↘ 警察等と連携して防犯対策を講じ、地域の治安を維持することは行政の必須の役割であるため、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由]↘ 自主防犯組織主催の講演会が毎年開催されているのに対し、平成25年度から市主催の講演会を開催していないため、見直し余地がある。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫しても、今以上成果は向上しない ⇒[理由]↘ 防犯パトロール中に空き家等の確認を実施すれば、より防犯対策として充実したものとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(学校教育課 青少年センター活動費) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒[理由]↘ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒[理由]↘ 現在、すでに防犯活動地域の重複がないよう連携している。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒[理由]↘
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由]↘ 車両による防犯パトロール活動において、防犯指導員による回数を増やしたり自主防犯組織の協力が得られれば、シルバー人材センターへ委託する業務量を削減できる。また、防犯パトロール等で必要な消耗品等について、防犯組合連合会への補助金の中で対応してもらうことで事業費の削減ができる。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由]↘ 防犯パトロール業務時間については、防犯指導員が欠席の場合、応急的に職員が代わりにパトロールを実施しており、防犯指導員の出席率が高くなれば職員の業務時間を削減可能である。防犯指導員の意識の高揚と、パトロール実施の数日前に再度市から周知する等工夫する必要がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒[理由]↘ 防犯講演会は、旭地区だけの開催であるため、今後は他地区での開催も検討する必要がある。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 一部地域では防犯意識が高いが、地域による意識格差がある。行政が主導で地域に根付くよう指導したい。
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
いつまでに	いつまでに																						
①平成26年12月まで(次の推薦依頼時) ②平成27年10月まで ③平成27年度以降		①防犯指導員をもっと有効に活用する方法を考える。②防犯指導員の連絡協議会等の立ち上げ検討を行う。③旭地区以外の防犯講演会の開催の検討																					
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
①各地区から選出されている防犯指導員の意識改革。 ②防犯指導員への報酬。 ③旭地区以外の自主防犯組織の活性化。																							